富士重工業株式会社

本　社　東京都千代田区丸の内2丁目18　電話(281)3551(代表)

製造車名　ラビット　スバル

資本金　16億6,100万円　　創立　昭和6年　　従業員　6,400名

役員

取締役会長	岸　喜二雄	取締役	松井健蔵
取締役社長	吉田孝雄	〃	森村定二
常務取締役	三木正	〃	井出英次
〃	小田政治	〃	矢彦沢豊
〃	小谷武夫	〃	戸島加寿夫
〃	松林敏夫	〃	飯野優
〃	山田為治	〃	長島昭次
〃	井上好夫	監査役	戸沢英一
取締役	中島乙未平	〃	玉井磨輔
〃	太田稔	〃	中島源太郎

沿革

大正6年　故中島知久平氏、群馬県太田町に航空機の研究所を創設。

昭和6年　株式会社に改組し、中島飛行機株式会社（公称資本金12,000千円、払込資本金6,000千円）と称する。

昭和13年　払込資本金50,000千円に増資。以降太田製作所の拡張、荻窪、小泉、武蔵、多摩、三鷹、半田、大宮、宇都宮、浜松、三島の各地に製作所、研究所を新設、終戦までに機体24,843機、発動機44,695基を生産その性能の卓越性を世界的に認められる。

昭和20年　終戦に伴い富士産業株式会社と改称。民需産業に転換し、スクーター、バス車体、鉄道車両、産業車両各種発動機等の生産を開始。昭和25年7月、12会社に分れ、それぞれ企業再建整備法による第二会社として発足。

昭和28年　7月第二会社のうち富士工業株式会社、富士自動車工業株式会社、大宮富士工業株式会社、宇都宮車輌株式会社及び東京富士産業株式会社の共同出資により当社を設立（払込資本金50,000千円）航空機の生産、修理を再開。同年11月払込資本金を200,000千円に増資。

昭和30和　4月上記5社を当社に吸収合併し、払込資本金830,500千円となる。

昭和34年　資本金倍額増資にて16億6,100万円となる。

東京販売課	東京都文京区湯島3～1（大和ビル）
大阪営業所	大阪市北区中之島2～25（江商ビル）
北海道出張所	札幌市北一条西4～2（札商ビル）
東北出張所	仙台市東一番丁（東一番丁ビル）
中部出張所	名古屋市中村区広小路西通り3～19（新名古屋ビル南館）
中国出張所	広島市胡町44（畑正ビル）
九州出張所	福岡市辻の堂26（ナショナルビル）
三鷹製作所	三鷹市大沢1439
大宮製作所	大宮市加茂宮1
太田製作所	太田市太田747
伊勢崎製作所	第1工場　伊勢崎市末広町100 第2工場　伊勢崎市旭町108
宇都宮製作所	宇都宮市西原町680
飛行場付属施設	宇都宮市台新田141

60年K